

全ての患者さんが笑顔になれますように

～患者さんから学び、患者さんにかえすリハビリ～

～楽しく希望につながるリハビリ～

総合リハビリテーション施設

理学療法／作業療法／言語聴覚療法／摂食嚥下療法

痛みなどを与えずに、機能の回復を目指し治療を行っています。

脳疾患、運動器疾患を問わず、マンツーマン40分以上の治療を原則としています。

山の辺病院併設

やまのべリハビリセンター

ご案内

医療法人社団岡田会 山の辺病院



リハビリテーション部の理念

- 1 患者さんから学び、患者さんにかえすリハビリ**
1人1人の患者さんを大切に、患者さんと共に考える治療を目指します。
- 2 個別担当制とチームアプローチ**
1人の患者さんに1人のセラピストが担当し責任をもつこと。その上でセラピストだけでなく、他の病棟スタッフとの合同学習会、家族教室、母親教室を導入するなどチームを組んで、患者さんを治療します。
- 3 楽しんでリハを受けていただき、気がついたら、治療改善しているリハビリ**
各セラピストが個々の患者さんの楽しみを考慮し、音楽やゲーム、趣味を活かしての治療改善のリハビリを行っています。月～金まで毎日レクリエーションを取り入れアシスタント（保育の資格を持ったアシスタントもいます。）と共に、楽しみながらリハビリを受けていただき希望につながるようになっています。



リハビリテーション部の取り組み

- 1 回復期病棟では 365 日体勢でリハビリを行なっています。**
看護とリハの協力体制のもと 24 時間の生活のリハビリを行なっています
毎週、老健、病院（急性期病棟、医療療養型病棟、回復期病棟）各病棟で合同研修を行い看護師・介護士とリハとで実技伝達をしています。リハ看護の育成に（PT・OT・ST）が全面協力しています。
- 2 月に 1 回の家族介護教室でご家族にも寄り添うリハビリ**
障害を持たれた方だけではなく、そのご家族にもサポートする（具体的には介助方法や能力アップにつながるアプローチ方法の習得を目指す）ことで、共倒れにならないですむ、あるいは能力の改善をご本人・ご家族やセラピスト等と一緒に喜びあえるよう務めます。
- 3 臨床基礎・応用講習会、多職種講習会を行っています**
当センターのリハスタッフ、当法人の看護、介護スタッフ、外部からの受講生（リハスタッフ、教員、工房 他）の合同でタッチング（ふれあい）を中心に講習会を行っています。



臨床研究会風景



講習会風景



介護教室風景



リハビリテーション部の理念

1 患者さんから学び、患者さんにかえすリハビリ

1人1人の患者さんを大切に、患者さんと共に考える治療を目指します。

2 個別担当制とチームアプローチ

1人の患者さんに1人のセラピストが担当し責任をもつこと。その上でセラピストだけでなく他の病棟スタッフとの合同学習会、家族教室、母親教室を導入するなどチームを組んで、患者さんを治療します。

3 楽しんでリハを受けていただき、気がついたら、治療改善しているリハビリ

各セラピストが個々の患者さんの楽しみを考慮し、音楽やゲーム、趣味を活かしての治療改善のリハビリを行っています。月～金まで毎日レクエーションを取り入れアシスタント（保育の資格を持ったアシスタントもいます。）と共に、楽しみながらリハビリを受けていただき希望につながるようになっています。



リハビリテーション部の取り組み

1 回復期病棟では 365 日体勢でリハビリを行なっています。

看護とリハの協力体制のもと 24 時間の生活のリハビリを行なっています

毎週、老健、病院（急性期病棟、医療療養型病棟、回復期病棟）各病棟で合同研修を行い看護師・介護士とリハとで実技伝達をしています。リハ看護の育成に（PT・OT・ST）が全面協力しています。

2 月に 1 回の家族介護教室でご家族にも寄り添うリハビリ

障害を持たれた方だけではなく、そのご家族にもサポートする（具体的には介助方法や能力アップにつながるアプローチ方法の習得を目指す）ことで、共倒れにならないですむ、あるいは能力の改善をご本人・ご家族やセラピスト等で一緒に喜びあえるよう務めます。

3 臨床基礎・応用講習会、多職種講習会を行っています

当センターのリハスタッフ、当法人の看護、介護スタッフ、外部からの受講生（リハスタッフ、教員、工房 他）の合同でタッチング（ふれあい）を中心に講習会を行っています。



臨床研究会風景



講習会風景



介護教室風景

やまのべ リハビリセンターでは…

病からの回復には、発病早期からの適切なリハビリが重要です。（痛み、腫れ、関節拘縮の二次障害を防ぎ、再学習を行います。）

当センターでは、脳血管疾患・運動器・呼吸器を中心に、急性期から回復期までのリハビリを、他の職種と協力し計画的に行っております。外来では成人だけでなく、脳性麻痺児や発達障害児の子どものリハビリも発達段階に応じて治療や支援を行います。



● 理学療法 (PT)

脳神経疾患や運動器疾患に起因する麻痺や関節可動域制限、筋力低下、痛みのある方に対し、運動療法を中心とした姿勢や運動のコントロールを行い基本動作（寝返る、起き上がる、座る、立ち上がる、歩くなど）能力の回復を目指します。また補助的に物理療法（温熱、超音波、電気、水治療などの物理的手段を治療目的に利用するもの）などを運動療法と組み合わせて行います。治療内容については、対象者一人ひとりについて医学的・社会的視点から身体能力や生活環境等を十分に評価し適切なプログラムを作成し、1日も早く社会復帰が出来るよう支援しています。



歩行練習



縄跳び練習

● 作業療法 (OT)

私たち作業療法士が対象とする「作業」とは、人が何かをすること「全て」を指しています。睡眠、食事やお風呂、着替え、歯磨きや洗顔、トイレなどの身の回りの管理、仕事、学校、行事、趣味、遊びなどが人が行う活動の集まりを「作業」と捉えます。それをを行う人にとって何らかの意味があれば作業ということができます。当院の作業療法は、身心機能の回復を図るために、脳機能の観点から作業を意味づけて評価・治療を行います。また、たとえ障害を負ってもその人らしく生活できるように、環境側面の改善や社会資源の利用などの助言も行っていきます。

やまのべリハビリセンターでは、脳卒中や骨折などの身体に障害がある方、脳性麻痺や自閉症などの発達期に障害を持った子どもさん、認知症、廃用症候群などの老年期に障害を持った方などを中心に、子どもから大人までを対象に作業療法を行っています。



更衣動作練習



上肢練習

● 言語聴覚療法 (ST)

口は食物を体に取り込む為の入り口としての機能だけでなく、呼吸をする、会話をする、咀嚼や発声時の口腔運動を調整する器官といえ、脳血管疾患や、頭部外傷などにより「ことば」の障害、味覚などの感覚障害や摂食・嚥下障害などを引き起こしたりします。

私たち言語聴覚士はこのような方に、医学的な検査を行った上で計画を立て、姿勢の矯正などからアプローチを加え、その方に必要な治療と指導を行い、「ことば」の回復や、楽しく「食べる」ことを目指します。

又、飲み込みや摂食に問題のある方にはVF（嚥下造影）検査を行い、安全な嚥下訓練を目指します。



発声練習



口腔機能練習

小児の治療

脳性麻痺児や発達障害児の発達段階に応じた、治療や支援を行います。
PT、OT、ST それぞれが専門性を生かして週 1 回の訓練を行います。

姿勢保持や、立位訓練に必要な座位保持椅子や
下肢装具などの作成が出来ます。
担当のセラピストも作成に入り、その子どもさん
に適切な福祉用具になるように対応しています。



PTによる立位訓練



STによる言語訓練



OTによる感覚統合



フロンボード立位



ミュージックケア

ミュージックケア中級認定を受けたアシスタントが中心になって
ミュージックケアを 2 ヶ月に 1 回行っています。
音楽の力を利用して聴覚からの刺激で体を動かしたり、太鼓や鈴な
どの楽器を使ってリズムを振動で感じたり楽しく活動しています。

母親教室では、生活の
中での注意点や、発達
に必要な関わり方など
をお伝えし、子どもに
とってよりよい環境を
支援します。



母親教室

ホットケーキ作り



季節ごとに
いろいろな企画を
開催し喜んで
もらっています

夏祭り



- 脳外科外来の受診が必要になります。
(毎週火曜日の予定、変更することあり)
- まずはお電話でお問い合わせください。
電話口で「小児リハビリの問い合わせです」とお伝えください。
TEL : 0744-45-1199 (内線 62, 63)
受付時間 / 平日 9:00 ~ 17:00



回復期リハビリテーション病棟紹介

身体の障害から低下した機能を出来る限り回復させ日常生活・社会に復帰していただく為に力を尽くします。

当院では脳血管疾患や整形疾患（大腿骨頸部骨折、脊柱圧迫骨折）等の患者様に対して、1日も早い在宅復帰を目指すべく医師、看護師、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、医療相談員（MSW）などが中心にチームを組み患者様と関わっております。療法士（セラピスト）による訓練は365日体制で行われます。訓練以外の日常生活（病棟生活）の中でもリハビリの視点を持った看護師によるリハビリやリハビリアシスタントやケアワーカーによる音楽療法、季節に合った作品作り、書道やカラオケなどのレクリエーションを行います。



看護師による歩行訓練場面



看護師による立位訓練場面

リハビリアシスタントによるレクリエーション



カラオケ場面



書道場面



看護師による立ち上がり援助



看護師による歩行援助

合同カンファレンスの様子

週1回患者様を中心とした合同のカンファレンスがあり介助方法についての意見交換や自主トレーニング方法の伝達を行っております。



セラピストによる訓練場面



カンファレンス場面
(看護師・介護士への伝達)



カンファレンス後の実技指導場面

教育体制

セラピストには教育と研修を課し、患者さんに質の高いリハビリを提供できるよう養成しています。知識と技術の向上でリハビリテーション医療に貢献します。

- 毎週の症例検討 … 1症例に対し、複数のスタッフとともに治療法の改善を目指します。
- 月単位の臨床研究 … 内外の指導的立場のセラピストにより、全スタッフの教育を行います。
- 毎週の病院（急性期・回復期・慢性期）・老健の看護師・介護士とのカンファレンス … 治療と日常生活を結ぶ日常生活場面での指導を行います。

リハビリセンター診察一覧表

	月	火	水	木	金	土
午前診 午前9時～午後0時	○	○	○	○	○	○
午後診 午後5時～午後6時	○	○	○	○	○	／

※その他、小児リハビリの時間はお問い合わせください。

送迎車

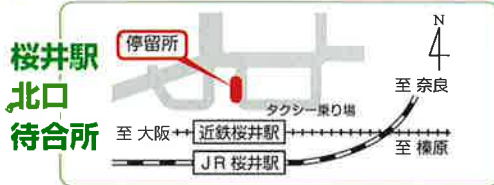
山の辺病院・やまのべリハビリセンター、やまのべグリーンヒルズ
近鉄桜井駅間の無料送迎バスを運行しております。

送迎車 運行中!

送迎車は無料です

YAMANOBЕ HP
やまのべ
リハビリセンター

近鉄桜井駅



桜井駅(北口)	→	山の辺病院	山の辺病院	→	桜井駅(北口)
8:00		8:23	8:30		8:53
9:05		9:28	9:10		9:33
9:40		10:03	9:40		10:03
10:15		10:38	10:15		10:38
10:45		11:08	10:50		11:13
11:25		11:48	12:00		12:23
12:30		12:53	13:00		13:23
15:55		16:13	15:25		15:48
			20:10		20:33

※片道 20 分程度を見込んでおりますが、交通事情により遅れる場合がございます。

※当分の間、平日の午後、日祝日は運休いたします。

※その他については、病院事務所にお問い合わせください。

- 15人乗りです。運転手を除いて定員は14人です。
 - 7人乗りです。運転手を除いて定員は6人です。
 - 職員送迎専用です。
 - 職員送迎専用です。同乗できます。
- ※但し、日曜・祝日/年末・年始は運行していません。

医療相談室に相談してみませんか?

病院は、病院の機能により高度急性期病院、一般急性期病院、亜急性期・回復期リハビリ病院、慢性期病院などに分類され、病状に応じた医療が行われるようになっています。

当「山の辺病院」は、亜急性期・回復期リハビリ病院として、地域の高度急性期・一般急性期を担う各病院と、日頃から連携をとりながら、患者さんの病状に応じた適切な医療・リハビリテーションを提供しています。

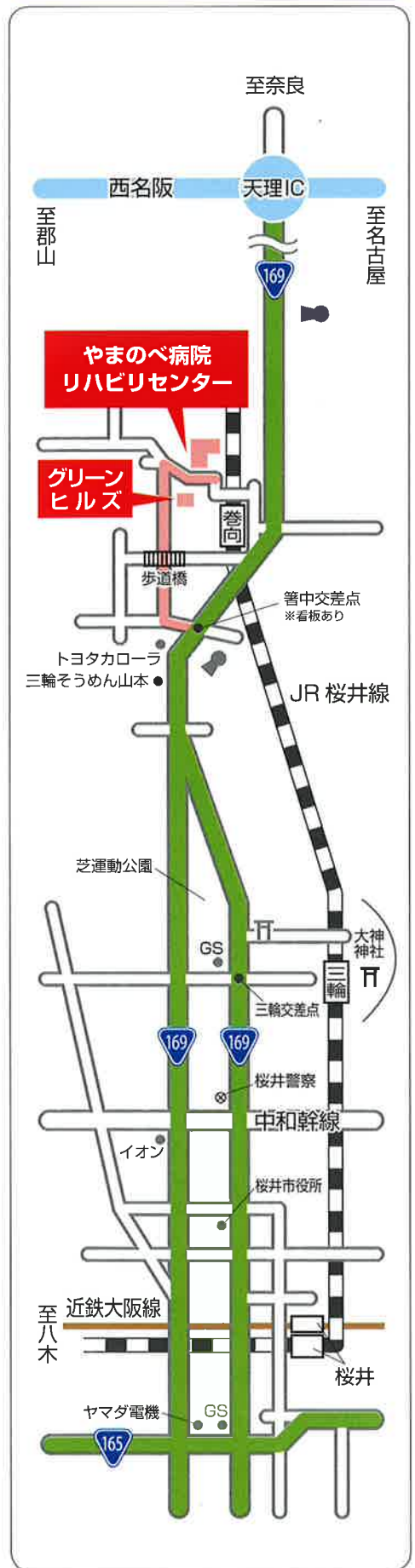
その窓口を「医療相談室」で受け付けております。医療相談室は、各医療機関との連携を図る「地域連携」、患者さんの様々な相談（例えば、医療費の支払い・介護保険の利用について等）をお受けする「医療相談」、入院患者さんの在宅への支援調整を行う「退院調整」、などを行っています。患者さんに寄り添って、より良い医療を提供するために、地域の他の医療機関と協力しています。

転院相談、リハビリテーションの事、何なりとご相談ください。

相談 TEL・FAX
無料 0744-45-1224

相談時間/平日 9:00～17:00 ※日・祝日は除く
※医療相談室は、やまのべリハビリセンターにございます。

交通・周辺地図



医療法人社団岡田会 山の辺病院

奈良県桜井市草川 60 番地

TEL: 0744-45-1199 (代)

FAX: 0744-42-1320

E-mail: office@yamanobe.or.jp